

2021年 11月 1日

Nov 1, 2021

学生・教職員各位

To all students and faculty staffs

精神・神経病態解明センター  
センター長 貝淵弘三

令和 3年度

第8回 FUJITA ニューロサイエンスセミナー 開催通知  
Information on FUJITA Neuroscience Seminar 2021

◆ 発表1: 萩原英雄 先生 (総合医科学研究所システム医科学研究部門)

「脳内中間表現型: 遺伝子と行動をつなぐキーコンセプト」

Hideo Hagihara (Division of Systems Medical Science, ICMS)

- Endophenotype in the brain: A key concept for understanding the relationships between genes and behavior -

◆ 発表2: 永岡唯宏 先生 (総合医科学研究所難病治療学研究部門)

「平面内細胞極性因子 Vangl2 と N-cadherin 相互作用が神経管閉鎖及びシナプス形成に果たす役割」

Tadahiro Nagaoka (Division for Therapies against Intractable Diseases, ICMS)

- Role of Planar Cell Polarity Factor Vangl2 and N-cadherin in Neural Tube Closure and Synapse Formation -

日時: 2021年 11月 20日 (土) 9:30-11:00

Time and Date: Saturday, Nov. 20, 2021, 9:30-11:00

場所: 大学2号館 901号室

Room: 901, Building No. 2

使用言語: 日本語

Language: Japanese

\* 事前連絡は不要です。

保健学研究科は「保健学セミナー」、医学研究科は「医学セミナー」の単位に認定されています。

実行委員: 池田匡志 (医学部・精神神経科学)、毛利彰宏 (医療科学部・レギュラトリーサイエンス)、  
小清水久嗣 (総合医科学研究所)、船橋靖広 (総合医科学研究所・神経・腫瘍のシグナル解析プロジェクト研究部門)、  
永井拓 (精神・神経病態解明センター・神経行動薬理学研究部門)

担当者連絡先:

永井拓 (精神・神経病態解明センター・神経行動薬理学研究部門、内線: 9957、メールアドレス: taku.nagai@fujita-hu.ac.jp)